



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
農村振興部

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				6,526,000	
・直接人件費	1.000	式		6,526,000	
・・直接人件費	1.000	式		6,526,000	
・・・ 1.準備作業	1.000	式	283,000	283,000	1式当たり
S63003 (1)準備作業	1.000	式	283,100	283,100	歩A・単A S単 1号
合 計				283,100	
・・・ 2.解析計画	1.000	式	607,000	607,000	1式当たり
S63003 (1)基本条件の整理	1.000	式	283,100	283,100	歩A・単A S単 2号
S63003 (2)解析条件の整理	1.000	式	323,400	323,400	歩A・単A S単 3号
合 計				606,500	
・・・ 3.扉体のFEM解析	1.000	式	3,070,000	3,070,000	1式当たり
S63003 (1)解析モデルの作成	1.000	式	595,550	595,550	歩A・単A S単 4号
S63003 (2)解析の実施	1.000	式	1,225,400	1,225,400	歩A・単A S単 5号
S63003 (3)解析結果の整理	1.000	式	798,000	798,000	歩A・単A S単 6号
S63003 (4)解析結果の評価	1.000	式	450,800	450,800	歩A・単A S単 7号
合 計				3,069,750	
・・・ 4.説明用資料作成	1.000	式	501,000	501,000	1式当たり
S63003 (1)説明用資料作成	1.000	式	501,200	501,200	歩A・単A S単 8号
合 計				501,200	
・・・ 5.積算参考資料	1.000	式	1,119,000	1,119,000	1式当たり
S63007 (1)現地調査	1.000	式	108,100	108,100	歩A・単A S単 15号
S63003 (2)設計関係資料把握	1.000	式	321,050	321,050	歩A・単A S単 9号
T00200 (3)積算資料及び施工単価条件の把握	80.000	[各単位]	5,463	437,040	歩A・単A T単 2号
T00300 (4)特別単価作成	20.000	[各単位]	12,663	253,260	歩A・単A T単 3号
合 計				1,119,450	
・・・ 6.照査	1.000	式	234,000	234,000	1式当たり
S63003 (1)照査	1.000	式	234,150	234,150	歩A・単A S単 12号
合 計				234,150	
・・・ 7.点検とりまとめ	1.000	式	376,000	376,000	1式当たり
S63003 (1)点検とりまとめ	1.000	式	376,300	376,300	歩A・単A S単 13号
合 計				376,300	
・・・ 打合せ	1.000	式	282,000	282,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日	2.000	回	75,900	151,800	歩A・単A S単 17号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日	2.000	回	64,860	129,720	歩A・単A S単 18号
合 計				281,520	

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** (1)準備作業 設計労務(直接人件費内業)		式	283,100		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** (1)基本条件の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	283,100		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** (2)解析条件の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	323,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** (1)解析モデルの作成 設計労務(直接人件費内業)		式	595,550		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** (2)解析の実施 設計労務(直接人件費内業)		式	1,225,400		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** (3)解析結果の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	798,000		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** (4)解析結果の評価 設計労務(直接人件費内業)		式	450,800		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** (1)説明用資料作成 設計労務(直接人件費内業)		式	501,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** (2)設計関係資料把握 設計労務(直接人件費内業)		式	321,050		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 積算資料及び施工単価条件の把握 設計労務(直接人件費内業)		式	437,000		歩A・単A
S63003	*** S単 - 11号 *** 特別単価作成 設計労務(直接人件費内業)		式	253,250		歩A・単A
S63003	*** S単 - 12号 *** (1)照査 設計労務(直接人件費内業)		式	234,150		歩A・単A
S63003	*** S単 - 13号 *** (1)点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	376,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 14号 *** 設計労務(直接人件費内業) 設計労務(直接人件費内業)		式	18,050		歩A・単A
S63007	*** S単 - 15号 *** (1)現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	108,100		歩A・単A
S63007	*** S単 - 16号 *** 現地調査移動にかかる基準日額 設計労務(直接人件費外業)		式	54,050		歩A・単A
S63010	*** S単 - 17号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.1日		回	75,900		歩A・単A
S63010	*** S単 - 18号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日		回	64,860		歩A・単A
S63011	*** S単 - 19号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	652		歩A・単A
S63011	*** S単 - 20号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,		回	652		歩A・単A
S63017	*** S単 - 21号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用) 旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,2時間		式	5,168		歩A・単A

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S63003	(1)準備作業 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)		人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)		人	48,500	97,000	
	合計				283,100	算出数量 1.000 式
	単価		式		283,100	
*** S単 - 2号 ***						
S63003	(1)基本条件の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)		人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)		人	48,500	97,000	
	合計				283,100	算出数量 1.000 式
	単価		式		283,100	
*** S単 - 3号 ***						
S63003	(2)解析条件の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)		人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)		人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)		人	40,300	40,300	
	合計				323,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		323,400	
*** S単 - 4号 ***						
S63003	(1)解析モデルの作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	時間的制約:なし					
	夜間制約作業時間:0.0					
	制約作業時間:0.0					
	冬期補正:なし					
	豪雪補正:なし					
	基本給時間:8.0					
	深夜時間:0.0					
	亜熱帯補正:なし					
	超勤時間:0.0					

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)					
		2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)					
		2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)					
		5.000	人	40,300	201,500	
R04007	技術員					
		4.000	人	36,100	144,400	
	合計				595,550	算出数量 1.000 式
	単価		式		595,550	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	(2)解析の実施 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	4)技師Aの人数	3.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数	9.00人		深夜時間:0.0		
	6)技師Cの人数	9.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)					
		3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)					
		9.000	人	48,500	436,500	
R04006	技師(C)					
		9.000	人	40,300	362,700	
R04007	技術員					
		5.000	人	36,100	180,500	
	合計				1,225,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,225,400	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	(3)解析結果の整理 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	4)技師Aの人数	3.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)					
		3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)					
		5.000	人	48,500	242,500	
R04006	技師(C)					
		5.000	人	40,300	201,500	
R04007	技術員					
		3.000	人	36,100	108,300	
	合計				798,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		798,000	
	*** S単 - 7号 ***					

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	(4)解析結果の評価 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
	合計				450,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		450,800	
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	(1)説明用資料作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師		人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				501,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		501,200	
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	(2)設計関係資料把握 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	2.500	人	48,500	121,250	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
	合計				321,050	算出数量 1.000 式
	単価		式		321,050	
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	積算資料及び施工単価条件の把握 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	時間的制約:なし					
	夜間制約作業時間:0.0					
	制約作業時間:0.0					
	冬期補正:なし					
	豪雪補正:なし					
	基本給時間:8.0					
	深夜時間:0.0					
	亜熱帯補正:なし					
	超勤時間:0.0					

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	4.000	人	40,300	161,200	
	合計				437,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		437,000	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	特別単価作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	1.500	人	48,500	72,750	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
	合計				253,250	算出数量 1.000 式
	単価		式		253,250	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	(1)照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.500	人	66,900	234,150	
	合計				234,150	算出数量 1.000 式
	単価		式		234,150	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	(1)点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.000	人	36,100	72,200	
	合 計				376,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		376,300	
	*** S単 - 14号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員	0.500	人	36,100	18,050	
	合 計				18,050	算出数量 1.000 式
	単 価		式		18,050	
	*** S単 - 15号 ***					
S63007	(1)現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師 (B)					
	外業	1.000	人	48,500	48,500	
	合 計				108,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		108,100	
	*** S単 - 16号 ***					
S63007	現地調査移動にかかる基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師 (B)					
	外業	0.500	人	48,500	24,250	
	合 計				54,050	算出数量 1.000 式
	単 価		式		54,050	
	*** S単 - 17号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 着手前・最終 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.100日				
R04003	主任技師	0.600	人	66,900	40,140	
R04004	技師(A)	0.600	人	59,600	35,760	
	合計				75,900	算出数量 1,000回
	単価		回		75,900	
	*** S単 - 18号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 中間 0.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.500日 0.100日				
R04004	技師(A)	0.600	人	59,600	35,760	
R04005	技師(B)	0.600	人	48,500	29,100	
	合計				64,860	算出数量 1,000回
	単価		回		64,860	
	*** S単 - 19号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員 7)打合せ日数 8)往復移動日数 9)宿泊区分 10)交通機関区分 11)高速道路往復料金(税別) 12)鉄道往復1人当料金(税別) 13)バス往復1人当料金(税別) 14)船舶往復1人当料金(税別) 15)航空往復1人当料金(税別) 16)ライトバン使用日数 18)宿泊料金1人当料金(税別) 19)宿泊手当1人当料金(税別)	一般工種・解析等調査業務 着手前・最終 1人 1人 0人 0人 0.50日 0.10日 通勤により打合せ 一般交通機関 0円 0円 0円 326円 0円 0円 0円				
P54308	船舶料金 消費税抜き	2,000	人	326	652	
	合計				652	算出数量 1,000回
	単価		回		652	
	*** S単 - 20号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	農村振興部
業務名	令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	0日,			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種・解析等調査業務 中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.10日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	一般交通機関				
	11)高速道路往復料金(税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	326円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54308	船舶料金					
	消費税抜き	2.000	人	326	652	
	合計				652	算出数量 1.000回
	単価		回		652	
	*** S単 - 21号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1.000式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金(税別)	0円				
	3)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	4)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)往復移動日数	1.00日				
	8)ライトバン使用日数	2日				
	9)時間区分	2時間				
	10)技師長外業日数	0.000日				
	11)主任技師外業日数	0.000日				
	12)技師A外業日数	1.000日				
	13)技師B外業日数	1.000日				
	14)技師C外業日数	0.000日				
	15)技術員外業日数	0.000日				
	16)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	173	1,868	
	合計				5,168	算出数量 1.000式
	単価		式		5,168	
	*** S単 - 22号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 300, 5cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	300				
	4)厚さ区分	5cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43446	報告書焼付代(コピー) A - 4以下 300枚	1.000	部	4,050	4,050	
P43542	簡易加除式ファイル A 4縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	591	591	
P43602	CD - R CD - R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合計				4,641	算出数量 1.000式
	単価		式		4,641	

令和6年度
調整池上水排水対策施設安定性解析業務

特別仕様書

農林水産省 九州農政局

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条

令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条

本業務は、諫早湾干拓事業において造成された潮受堤防排水門への上水排水のためのフラップゲート設置の検討に当たり、有限要素法(FEM)による排水門扉体の安定性についての解析と検証及び工事発注に必要な積算参考資料の作成等を行うものである。

(場 所)

第1-3条

業務位置は、長崎県諫早市及び雲仙市地先で、別添位置図に示すとおりである。

(低入札価格契約における第三者照査)

第1-4条

- 1 予算決算及び会計令(以下、「予決令」という。)第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査(以下、「第三者照査」という。)を実施しなければならない。
- 2 第三者照査の企業に要求される資格
 - (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
 - (2) 九州農政局において、令和7、8年度(当該業種区分)の一般競争(指名競争)参加資格の認定を受けていること。
 - (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - (4) 共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できるものであること。
 - (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するのは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
 - ア 資本関係
 - (ア) 親会社と子会社の関係にある
 - (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある
 - イ 人的関係
 - (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている
- 3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- (1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- (2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第5-1条打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス

(AGRIS) の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注に当たり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ~ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1-6条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- 1 受注者は、作業実施の順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第1-7条

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	機械-機械設計等 建設-鋼構造及びコンクリート 農業-農業土木 農業-農業農村工学
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャ	鋼構造及びコンクリート	
	農業土木	

(照査技術者)

第1-8条

- 1 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	機械-機械設計等 建設-鋼構造及びコンクリート 農業-農業土木 農業-農業農村工学
	機械	機械設計等
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャ	鋼構造及びコンクリート	
	農業土木	

- 2 本業務における照査は、「設計業務照査の手引書(案)」(以下「照査手引書」という。)に基づき実施する。また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、共通仕様

書第1-7条5項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第1-9条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(技術者情報の登録)

第1-10条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- 1 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- 2 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-11条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名称	発行所	制定(改訂)年月
鋼構造物計画設計技術指針(水門扉編)	(一社)農業土木事業協会	平成21年3月

(設計条件)

第2-2条

設計作業における設計条件は、次のとおりである。

1-1 設計基本条件(北部排水門)

- (1) 設備名称 北部排水門
- (2) 形式 フローティングタイプ
- (3) 数量 6門
- (4) 純径間 33.35m
- (5) 扉高 9.0m

- (6) ゲート敷高 EL(-)4.00m
- (7) 開閉方式 電動ワイヤーロープ ウインチ式(2M2D)
- (8) 操作方式 機側・遠方

1-2 設計基本条件 (南部排水門)

- (1) 設備名称 南部排水門
- (2) 形式 フローティングタイプ
- (3) 数量 2門
- (4) 純径間 25.00m
- (5) 扉高 9.0m
- (6) ゲート敷高 EL(-)4.00m
- (7) 開閉方式 電動ワイヤーロープ ウインチ式(2M2D)
- (8) 操作方式 機側・遠方

2 外海側水位条件

- (1) 設計高潮位 (H. H. W. L) (+)4.90m
- (2) 朔望平均満潮位 (H. W. L) (+)2.50m
- (3) 朔望平均干潮位 (L. W. L) (-)2.90m

3 調整池水位条件

- (1) 調整池設計洪水水位 (+)2.20m
- (2) 調整池管理水位 (-)1.00m
- (3) 調整池操作下限水位 (-)1.20m

(参考図書)

第2-3条

設計の基本事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名称	発行所	制定(改訂)年月
水門鉄管技術基準 (水門扉編)	(一社)電力土木技術協会	令和4年11月
水門鉄管技術基準 (水圧鉄管・鉄鋼構造物編, 溶接・接合編)	(一社)電力土木技術協会	令和6年9月
ダム・堰施設技術基準 (案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成28年3月
水門・樋門ゲート設計要領 (案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成13年12月
ゲート用開閉装置 (機械式) 設計要領 (案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成12年8月
河川砂防技術基準 (案) 同解説・設計編	(社)日本河川協会	平成9年10月

(貸与資料等)

第2-4条

貸与資料は次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
業務報告書	令和6年度 調整池排水対策検討業務	1部
その他	その他、参考となる資料等	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱)

第2-5条

第2-3条及び第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- 1 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- 2 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- 3 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙-1 作業項目内訳表に示すものとする。

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 解析計画	1式	
3. 扉体のFEM解析	1式	
4. 説明用資料作成	1式	
5. 積算参考資料作成	1式	
6. 照査	1式	
7. 点検取りまとめ	1式	

(設計作業の留意点)

第3-2条

設計作業の実施に際し、特に留意する点は以下のとおりである。

- 1 解析を実施するケースは扉体設計時に最も水平方向荷重が大きい高潮時（外潮位 TP(+)4.75m, 調整池水位 TP(-)1.20m, 波高2.00m 考慮）とする。（最も危険となるケース）
- 2 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- 3 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- 4 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- 5 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- 6 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内

容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定に当たっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。

(1) 農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、

<https://nn-techinfo.jp/> を参照。

(2) 新技術情報システム（NETIS）については、

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

7 数量計算に当たっては、施設機械工事等数量算出要領（案）に基づき行うものとし、それ以外については、監督職員と協議するものとする。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化及び写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL

「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

(1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

(2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

(3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時にURL(<http://www.cals.jacic.or.jp/>)

CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 業務管理

(情報共有システム)

第4-1条

- 1 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- 2 情報共有システムは「工事及び業務の情報共有システム活用要領」(農林水産省 Web サイト参照)によるものとする。
- 3 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

第5章 打合せ

(打合せ)

第5-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ(扉体のFEM解析結果整理段階)

第3回 中間打合せ(積算参考資料作成段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第6章 成 果 物

(成 果 物)

第6-1条

成果物は、「設計業務等の電子納品要領（案）機械設備工事編」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R、DVD-R 又は BD-R）で正副 2 部及び成果物の出力 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）を提出するものとする。

（開示用成果物の作成及び提出）

第 6 - 2 条

第 6 - 1 条に記載している成果物（PDF ファイル）に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

成果物を設計業務共通仕様書第 1 - 17 条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

なお、「不開示情報」とは、別紙 - 2 のとおりである。

- (1) 開示用成果物の電子媒体（CD-R 等） 1 部。

（成果物の提出先）

第 6 - 3 条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県熊本市西区春日 2 丁目 10 番 1 号 熊本地方合同庁舎 A 棟 6 階
農林水産省九州農政局農村振興部農地整備課

第 7 章 契約変更

（契約変更）

第 7 - 1 条

業務請負契約書第 17 条から第 19 条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- 1 第 2 - 2 条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- 2 第 3 - 1 条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- 3 第 5 - 1 条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- 4 第 6 - 1 条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- 5 履行期間の変更が生じた場合
- 6 関係機関等対外的協議により設計計画等に変更が生じた場合
- 7 その他

第 8 章 定めなき事項

（定めなき事項）

第 8 - 1 条

この特別仕様書に定めなき事項または本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙－1 作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	数量
1. 準備作業	設計に必要な資料（既往排水門設計図書等）及び貸与資料の内容を整理・把握する。	1式
2. 解析計画		1式
(1) 基本条件の整理	既往排水門扉体の設計時の検討結果を整理する。	1式
(2) 解析条件の整理	解析を行うための基本条件及び解析条件を整理する。	1式
3. 扉体のFEM解析		1式
(1) 解析モデルの作成	北部及び南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の有限要素法(FEM)解析モデルを作成する。	1式
(2) 解析の実施	北部及び南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の応力状況を弾性静解析により実施する。	1式
(3) 解析結果の整理	北部及び南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の解析結果（解析モデル図、解析条件図、変形状態図、応力コンター図）を整理する。	1式
(4) 解析結果の評価	北部及び南部排水門扉体へのフラップゲート及びスライドゲート設置後の応力状況を比較し、安全性を評価する。	1式
4. 説明用資料作成	上記の成果について、説明用資料を作成する。	1式
5. 積算参考資料作成		1式
(1) 現地調査	貸与資料に基づき現地を確認する。	1式
(2) 設計関係資料把握	貸与資料から本業務の作業（工事）範囲の確認、照合作業を行う。	1式
(3) 積算資料及び施工単価条件の把握	各工種において、積算の根拠（施工歩掛、施工機械の選定等）資料及び施工単価条件の選定資料等を作成する。	80頁
(4) 特別単価作成	単価を作成する際、土地改良工事積算基準及び工事工種体系が定められていない工種で、各歩掛を組み合わせて構成した方が適切な場合には特別単価の作成を行う。	20単価
6. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1式
7. 点検取りまとめ	各設計項目の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

【別紙－２ 不開示情報】

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報及び法人その他団体に関する情報	<p>記述等により特定の個人を識別することができる情報</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受注者氏名 2. 個人及び会社の印影 3. 各種調査結果に記載された調査員等の氏名 4. 打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名 5. 函面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等 6. 顔写真 7. 技術提案書等の当該法人の知的財産に関する情報 8. IP アドレス等機器の接続情報 9. その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報） 	<p>行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第5条第一号及び第二号イ</p>

業務位置図（令和6年度 調整池上水排水対策施設安定性解析業務）

